



「新しいケインズ」

「事故現場の市道はセンターラインだけでなく手前の横断歩道も白線が消えかかっている。市内の道路を県道も含めて維持管理する全国最大の政令指定都市・横浜市の

線ラインも、脇道との境目の横断歩道も、安全や命に繋がる白線が「消えかかっている」どころか「ほぼ消えている」のが一目瞭然な動画を付けてツイートしました。

都道府県道・市区町村道の建設時には費用の7割を国が負担します。他方で、車両用防護柵ガードレールの設置費用や道路の区画線、舗装等の維持修繕費は全額、道路管理者たる地元自治体の負担。「財政難」を理由に点検は滞り勝ちです。

ツイート末尾には惹句「造るから治す、護る、そして創るへ。」を添えました。自前で機械を揃え、住民を雇う、実績ある地元の会社が応札可能な一般競争入札を導入した知事時代からの持論です。

敷設時には国が8割負担する下水道事業も維持管理費は全額地元負担。しかも都会と同じ規格の管路。夕張市破綻の一因でした。

年間予算は3・9兆円。これでは事故に遭った81歳の仲本工事さんも運転していた73歳の男性も浮かばれない。

路線バスが通過する市道の中央センター

の補助金に非ず。使途自由な自治体の単独費。維持修繕箇所を増やすと共に、県内の小学校全学年に30人学級を全国で最初に導入する原資にも充てました。

就任した2000年10月、長野県は実質公債費比率が全国47都道府県でワースト1位と財政再建団体転落寸前。基礎的財政収支を全国で唯一、在任6年連続で黒字化

し、1日の利息の返済額だけでも1億4812万円に達していた債務残高も計923億円、47都道府県で唯一減少させ、他方で「人が人のお世話を始めて成り立つ21世紀型の労働集約型産業」と呼ぶべき「福祉・教育・医療・観光・環境」の分野に傾注投資し得たのは、一連の入札制度改革を敢行したから。年率5%を超える実質経済成長率を達成しました。

閑話休題。2009年9月の「政権交代」後、前政権下で成立の補正予算14・7兆円を「事業仕分け」で3兆円削減すると息巻く民主党に対し、亀井静香氏の国民新党と統一会派を組んだ新党日本は以下の具体的提案を行います。

景気の二番底ニバンソコに対処すべく1兆円ずつ3項目、3兆円分の予算

を張って潤う公共事業改革。そして2割分の余剰金は国から

組み替えを行うべしと。

維持管理が滞って橋梁が落下し隧道が崩壊する米国の悲劇から学び、橋梁と隧道の緊急点検を全国津々浦々で年末迄に実施。地域密着型の公共事業として安心・安全・活力を齎すべく、耐久性・耐震性が劣る箇所は前倒しで年度内に工事を開始。

労働環境が劣悪な福祉現場の待遇を改善すべく、時給30円アップを年初から実施。国・都道府県・基礎自治体が3分の1ずつ負担する福祉予算の地方負担分は3月に一括交付税措置すると約束。

総人口の18%に上る、山あり谷ありな中山間地域に暮らす750万世帯の汚水処理未整備地区への下水道敷設費用は47兆円なるも、環境省が所管する合併処理浄化槽の個別地域設置で水洗化したなら僅か6兆円。現行2兆円の下水道新設予算の3年分で完遂。

景気とは優れて、気分カンバシという空気。「コンクリートから人へ」と情念的・情緒的な御題目を復唱するだけでは国民は疑心暗鬼に陥りますと諫言かんげん。が、哀しい哉かな、アルゴリズムな優等生集団には馬の

耳みみに念仏ねんぶつでした。嗚呼ああ。

★次号2月号の発行日は10月25日(金)です。